

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-358856

(P2001-358856A)

(43) 公開日 平成13年12月26日 (2001. 12. 26)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 4 M 15/00		H 0 4 M 15/00	Z 3 E 0 4 4
G 0 6 F 13/00	5 4 0	G 0 6 F 13/00	5 4 0 S 5 B 0 4 9
17/60	2 4 2	17/60	2 4 2 5 B 0 5 5
	3 0 2		3 0 2 E 5 K 0 1 5
	4 0 8		4 0 8 5 K 0 2 4

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-178015(P2000-178015)

(22) 出願日 平成12年6月14日(2000. 6. 14)

(71) 出願人 500277560

杉本 聡

東京都世田谷区駒沢3丁目2番1号 株式  
会社コンテンツステーション内

(72) 発明者 杉本 聡

東京都世田谷区駒沢3丁目2番1号 株式  
会社コンテンツステーション内

(72) 発明者 濱野 宏衛

東京都世田谷区駒沢3丁目2番1号 株式  
会社コンテンツステーション内

(74) 代理人 100102532

弁理士 好宮 幹夫

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 サービス提供方法及び国際電話のプリペイドカード

## (57) 【要約】

【課題】 ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供方法において、顧客に余分な手間、負担をかけることなくサービスを提供するとともに、確実に課金をする。

【解決手段】 サービス提供ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供方法において、少なくとも(1)国際キャリアが顧客から特定のコンテンツ・サーバが有するコンテンツへのアクセス要求を受け取る段階と、(2)前記国際キャリアが顧客の認証を行う段階と、(3)前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階と、(4)前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階と、(5)前記国際キャリアが国際キャリアに配信されたコンテンツを顧客へ配信する段階と、(6)前記国際キャリアが顧客への課金を行う段階と、を有するサービス提供方法。および本発明の方法に用いられる国際電話のプリペイドカード。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 サービス提供ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供方法において、少なくとも

(1) 国際キャリアが顧客から特定のコンテンツ・サーバが有するコンテンツへのアクセス要求を受け取る段階と、(2) 前記国際キャリアが顧客の認証を行う段階と、(3) 前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階と、(4) 前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階と、(5) 前記国際キャリアが国際キャリアに配信されたコンテンツを顧客へ配信する段階と、(6) 前記国際キャリアが顧客への課金を行う段階と、を有することを特徴とするサービス提供方法。

【請求項2】 前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階、及び前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階は、専用回線を用いて行うことを特徴とする請求項1に記載のサービス提供方法。

【請求項3】 前記顧客の認証及び顧客への課金は国際電話のプリペイドカードを用いて行うことを特徴とする請求項1または請求項2に記載のサービス提供方法。

【請求項4】 前記コンテンツは多国語に対応していることを特徴とする請求項1ないし請求項3のいずれか1項に記載のサービス提供方法。

【請求項5】 国際電話のプリペイドカードであって、(1) 国際キャリアが顧客から特定のコンテンツ・サーバが有するコンテンツへのアクセス要求を受け取る段階と、(2) 前記国際キャリアが顧客の認証を行う段階と、(3) 前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階と、(4) 前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階と、(5) 前記国際キャリアが国際キャリアに配信されたコンテンツを顧客へ配信する段階と、(6) 前記国際キャリアが顧客への課金を行う段階と、を有するサービス提供ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供方法における前記顧客の認証及び顧客への課金に用いられるものであることを特徴とする国際電話のプリペイドカード。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、サービス提供ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供方法及びそれに用いられる国際電話のプリペイドカードに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来から、インターネット等のサービス提供ネットワークを利用してネットワーク上のコンテンツにより、音声、映像等からなる情報の提供やコミュニケーションの場を与える等のサービスを提供することが行なわれている。

【0003】 特に日本、あるいは諸外国で生活する外国人にとって「生活」情報や「コミュニケーション」情報

を入手することは大きな課題であり、その情報を得る方法は極めて限定されたものとなっている。それらの代表的な原因として、「言語の違い」によるコミュニケーション不足や日本語への理解不足、多国語に対応したコンテンツの不足、及び渡航目的(就労、就学)の性質による、行動範囲や人間交流の限定等が挙げられ、在日の外国人にとって大きな「情報」に対するストレスが生じている。そのため、上記のようなサービスネットワーク上のコンテンツによるサービス提供は、在日外国人にとって特に必要不可欠なものとなっている。

【0004】 このようなサービスの提供方法にあたっては、従来は通常の電話回線を用いて顧客とコンテンツを有するコンテンツ・サーバとを直接接続し、コンテンツ・サーバから顧客が要求したコンテンツを配信してサービスの提供を行っていた。しかし、このようなサービス提供方法では、顧客への課金に際して、当該コンテンツ利用相当額と電話回線の利用料との区別がつかず、顧客への課金が困難になるという欠点がある。

【0005】 このような欠点をなくすために、このようなサービス提供に対応した電話機、コンピュータ端末等を用いる方法も試みられている。この方法であれば、コンテンツ利用相当額と電話回線利用料とを区別して特定の顧客への課金が可能となる。しかし、この方法では、特殊な電話機、コンピュータ端末が必要となり、一般利用者、特に電話機等を所持していない在日外国人等にとってはサービスを利用しにくいという欠点がある。

【0006】 そこで、顧客と特定のコンテンツを有するコンテンツサーバとを直接接続するのではなく、顧客とコンテンツサーバとを何らかの課金サーバを介して接続し、その課金サーバが顧客から課金を行うという方法が考えられた。この方法であれば、特殊な機器を使用することなく顧客に課金を行うことができる。しかし、このような方法では、別個の課金サーバを新たに設けなければならないという欠点がある。また、サービスを受けるために独立別個の手続きが必要となり、在日外国人等にとっては手軽にサービスを受け難いという欠点もある。以上のように、従来、在日外国人等が手軽にコンテンツによるサービスの提供を受けることができる方法はなく、簡単にサービスの提供を受けることができる方法が望まれていた。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、このような問題点を鑑みて為されたもので、サービス提供ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供方法において、顧客に余分な手間、負担をかけることなくサービスを提供することができるとともに簡単かつ確実に課金することができるようにすることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決する本発明は、サービス提供ネットワーク上のコンテンツによる

10

20

30

40

50

サービス提供方法において、少なくとも

(1) 国際キャリアが顧客から特定のコンテンツ・サーバが有するコンテンツへのアクセス要求を受け取る段階と、(2) 前記国際キャリアが顧客の認証を行う段階と、(3) 前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階と、(4) 前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階と、(5) 前記国際キャリアが国際キャリアに配信されたコンテンツを顧客へ配信する段階と、(6) 前記国際キャリアが顧客への課金を行う段階と、を有することを特徴とするサービス提供方法である(請求項1)。

【0009】このように、顧客からのアクセス要求を受け、顧客の認証を行い、コンテンツへのアクセスを行ない、国際キャリアに配信されたコンテンツを顧客へ配信し、顧客への課金を行うのが国際キャリアであれば、既に存在する国際キャリアを用いて顧客に課金等を行うことが可能なため、新たに機器、課金サーバの増設等の必要がなく、顧客は従来からある国際電話サービスに付帯してコンテンツサーバからのサービスの提供を受けることが可能となる。

【0010】なお、本発明における国際キャリアとは、国際電話回線網の接続・通話サービスを行う国際電話会社等をさすが、単に国際電話回線を自社で所持する国際電話会社のみならず、自社で電話回線を所持していない、いわゆる国際リセラー(再販会社)等をも含むものである。

【0011】この場合、前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階、及び前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階は、専用回線を用いて行うことができる(請求項2)。

【0012】このように前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階、及び前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階を、専用回線を用いて行うことにより、外部からの侵入を防ぐことができるため顧客のプライバシーを守ることができるという利点があり、コンテンツ・サーバの不正利用を防ぐことも可能である。また、一般回線を用いた場合に比べてランニングコストが安くなる可能性があるという利点がある。

【0013】なお、ここでいう専用回線とは、必ずしもコンテンツサーバ側あるいは国際キャリアが所持していることは要しないが、少なくともコンテンツサーバ及び国際キャリア以外には通じておらず、他の回線からはアクセスすることが不可能であり、独立して存在しているものを指す。

【0014】この場合、前記顧客の認証及び顧客への課金は国際電話のプリペイドカードを用いて行うことが好ましい(請求項3)。このように顧客の認証及び顧客への課金を国際電話のプリペイドカードを用いて行うことにより、他の独立した認証及び課金手段を用いて行うよ

りも、顧客の負担、手間がはるかに少ないという利点がある。なぜなら、国際電話のプリペイドカードは在日外国人の間において広く流通しており、在日外国人にとって馴染みやすい物であるからである。加えて、国際電話のプリペイドカードにサービスの提供という付加価値を付与することによりプリペイドカードの商品価値を増大させることもできる。さらに、プリペイドカードであれば、確実に課金することができる。

【0015】この場合、前記コンテンツは多国語に対応していることが好ましい(請求項4)。このように、コンテンツが多国語に対応しているものであれば、在日のどこの国の外国人に対しても有益なものとなるからである。

【0016】また、本発明は、国際電話のプリペイドカードであって、(1) 国際キャリアが顧客から特定のコンテンツ・サーバが有するコンテンツへのアクセス要求を受け取る段階と、(2) 前記国際キャリアが顧客の認証を行う段階と、(3) 前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階と、(4) 前記コンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階と、

(5) 前記国際キャリアが国際キャリアに配信されたコンテンツを顧客へ配信する段階と、(6) 前記国際キャリアが顧客への課金を行う段階と、を有するサービス提供ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供方法における前記顧客の認証及び顧客への課金に用いられるものであることを特徴とする国際電話のプリペイドカードである(請求項5)。

【0017】このように、本発明のサービス提供に用いられる国際電話のプリペイドカードは、従来の国際電話についてのプリペイドカードであるということのみならず、コンテンツによるサービスを受けることが可能であるという付加価値をさらに有するものとなり、単なる国際電話のプリペイドカードよりも商品価値がさらに増したものとなる。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明するが、本発明はこれらに限定されるものではない。ここで、図1は本発明のサービス提供ネットワークの概略を示した図である。

【0019】例えば、サービスを受けるにあたって顧客はコンテンツによるサービスが付加された本発明の国際電話のプリペイドカードを購入する。この場合、顧客は通常の国際電話のプリペイドカードを購入する場合と特に変わることなく本発明のプリペイドカードを購入し、固有のカード番号、ID番号を付与される。

【0020】特定のコンテンツからサービスを受けたい顧客は、まず国際キャリアに電話等によりコンテンツへのアクセス要求を行う。この場合、顧客は必ずしも自身自身で電話機あるいはコンピュータ端末等を所持している必要はなく、一般的な公衆電話等から国際キャリアに

電話をかけることによりアクセス要求をすることができる。さらに、これらの電話機等はごく一般的な物でよく、本発明に対応した特別な機能を要求されるものではない。

【0021】このようにしてなされた顧客からのアクセス要求を国際キャリアは受け取る。次に国際キャリアは顧客の認証を行う。この認証は、例えば以下のようにして行う。まず、国際キャリアに電話をした顧客は、国際キャリアのオペレータあるいは自動音声等による自動案内システムにより案内を受ける。次に顧客は自分のプリペイドカードのカード番号、ID番号を国際キャリアの案内に従い、口頭あるいは電話機のボタンに番号を入力すること等により国際キャリアに通知する。顧客からカード番号、ID番号を受け取った国際キャリアはアクセス要求をした顧客が利用可能であるかを、国際キャリア内のプリペイドカード情報から認証する。

【0022】以上は、顧客がプリペイドカードを用い、国際キャリアを通じて国際電話通話網を利用する方法と類似するものである。ここで、顧客はサービスを受けたいコンテンツをアクセス番号や電話番号等により特定する。国際キャリアは顧客により特定されたコンテンツへのアクセスを行う。なお、この場合において顧客は通常の国際電話網を利用するための番号を入力して、従来のように国際電話を利用することも可能である。

【0023】アクセスを受けたコンテンツについて、コンテンツサーバは国際キャリアにコンテンツを配信する。ここでコンテンツの内容については、例えば図2に記載されたような内容が例示される。コンテンツの内容は大きく分けて、「情報ダイヤル型」、「参加・応募型」、「コミュニケーション型」の3つに大別される。

【0024】一番目の「情報ダイヤル型」は顧客にコンテンツから有用な情報を提供するもので、これには「日本生活情報」、「官庁情報ダイヤル」、「各国ニュース」、「占い・運勢」等が挙げられる。「日本生活情報」では、例えば日本での生活利便向上情報や、外国人向けタウンページ（登録商標）、各観光地案内等が行なわれる。本発明によるサービス提供方法は、一般的な公衆電話、携帯電話等から手軽に利用できるものであるため、例えば在日外国人が日本国内で道に迷った場合に、手軽にコンテンツにアクセスし道案内を受けることもできる。

【0025】「官庁情報ダイヤル」では、大使館、総務庁、公益機関・団体等の広報や生活補助・イベント情報の番組等が行なわれる。これを用いることにより、例えば在日外国人がビザを取得する場合等に役立てることができる。

【0026】その他、「各国ニュース」では、各国の政治・経済・社会・芸能・スポーツニュース等が放送され、特に在日外国人にとっては本国に電話をかけることなく手軽に希望するニュースを得ることができる。また

「占い・運勢」では複数種類の占い・運勢を毎日、手軽な場所で聞く事ができる。

【0027】2番目の「参加・応募型」はコンテンツ内のイベントに顧客が主体的に参加するものである。例えば、顧客がコンテンツに設けられた「ゲーム」、「クイズ」、及び「アンケート」に参加あるいは応募することができる。この場合、例えば、各種「ゲーム」、「クイズ」、「アンケート」に応募し、懸賞が当たるようにすることもできる。また、顧客の住所や名前等の情報を収集してマーケティング活動や広告などに利用するためのデータベースを作ることでもある。

【0028】3番目の「コミュニケーション型」は、コンテンツ内において顧客同士にコミュニケーションを図る場を与えるものである。これには例えば、「ボイスメール」（伝言）、「パーティライン」がある。「ボイスメール」では、個人売買掲示板に用いることができ、生活用品等を個人売買する為の掲示板としても用いることができる。「パーティライン」では、国別、言語別の電話会議室であり、2人以上の顧客が同時に連絡、討論等を行うことができる。

【0029】以上のようなコンテンツは多国語に対応していることが好ましい。例えば、英語、タガログ語、ポルトガル語、広東語、北京語、韓国語、スペイン語、仏語、独語、ヘブライ語、ベルシャ語等に対応したものであれば、日本に在住する外国人も容易にコンテンツを用いてサービスを受けることができる。この言語態様の選択は、国際キャリアへのアクセス要求時に同時に行えば良い。例えば、顧客によるアクセス要求が電話機の手話器に対して口頭により行なわれるのであれば、顧客の話す言語を音声認識により認識し、それに対応した言語態様のコンテンツにアクセスするようにされていてもよい。このようなサービス提供により外国人の生活の利便がさらに図られることになる。

【0030】なお、前記国際キャリアがコンテンツへのアクセスを行う段階及びコンテンツ・サーバが国際キャリアにコンテンツを配信する段階においては、通常の電話回線を利用して行うことも可能であるが、この場合は専用回線を用いて行うことが好ましい。他の回線からのアクセスが不可能な独立した専用回線であれば、他人の侵入を防止することができ顧客のプライバシーの保護が容易であり、コンテンツ・サーバの不正利用を防ぐことも可能であるからである。また使用頻度が高ければ通常回線に比べてランニングコストが安いという利点があるからである。

【0031】そして、国際キャリアが国際キャリアに配信されたコンテンツを顧客へ配信する。顧客は要求した言語態様に対応したコンテンツによりサービスを受けることができる。この時、国際キャリアは顧客に対して課金を行う。この課金は例えば、顧客が利用したコンテン

ツの内容、利用時間等に応じたカード度数を国際キャリア内の顧客情報に記録された残存プリペイドカード度数から引き落とすことにより行えば良い。こうして顧客から課金された額は、後にコンテンツ・サーバ所有者に送金され、コンテンツ・サーバ所有者から顧客への課金が完了する。

【0032】なお、図1に示す本発明のサービス提供方法のネットワークは日本国内に限定されるものではなく、国際電話通信網を利用して世界的にマーケットを拡げることができる。例えば、図3に示すように日本国内で本発明のサービスを立上げ、コンテンツ・サーバを設置し、このコンテンツ・サーバを各国に設置された国際キャリアと通常回線あるいは専用回線により接続することにより、日本のコンテンツを各国の顧客が利用することが可能となる。このような実施態様は、就学、出稼ぎ外国人の多い国を市場とする際に特に有利である。

【0033】なお、本発明は、上記実施形態に限定されるものではない。上記実施形態は、例示であり、本発明の特許請求の範囲に記載された技術的思想と実質的に同一な構成を有し、同様な作用効果を奏するものは、いかなるものであっても本発明の技術的範囲に包含される。

【0034】例えば、上記実施形態では、顧客が国際電

話のプリペイドカードを用いてサービスを受ける場合を中心に説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、プリペイドカードを用いず、他の手段を用いても本発明のサービス提供方法を実施することができる。例えば、顧客を個別の電話あるいは携帯電話により認証し、課金を行うことも可能である。

【0035】

【発明の効果】以上のように、本発明のサービス提供方法及び国際電話のプリペイドカードにより、ネットワーク上のコンテンツによるサービス提供がさらに容易になり、顧客も利用しやすいものとなる。そのため、顧客、特に在日外国人の生活の利便の向上につながる。課金も、簡易で迅速かつ確実に行うことができる。そして、国際電話のプリペイドカードに対して新たな商品価値を付与することもできる。

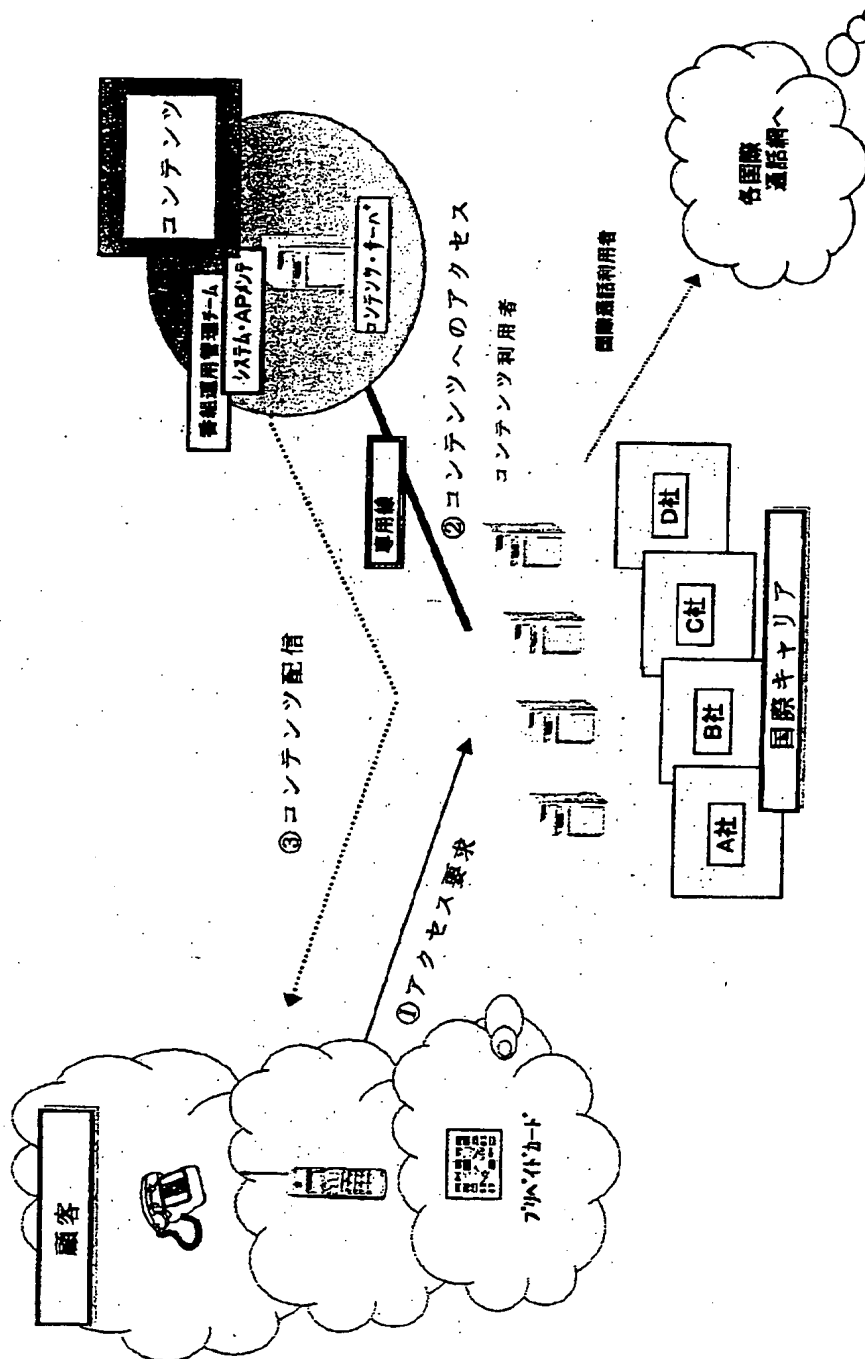
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のサービス提供方法におけるサービス提供ネットワークの様子を示した説明図である。

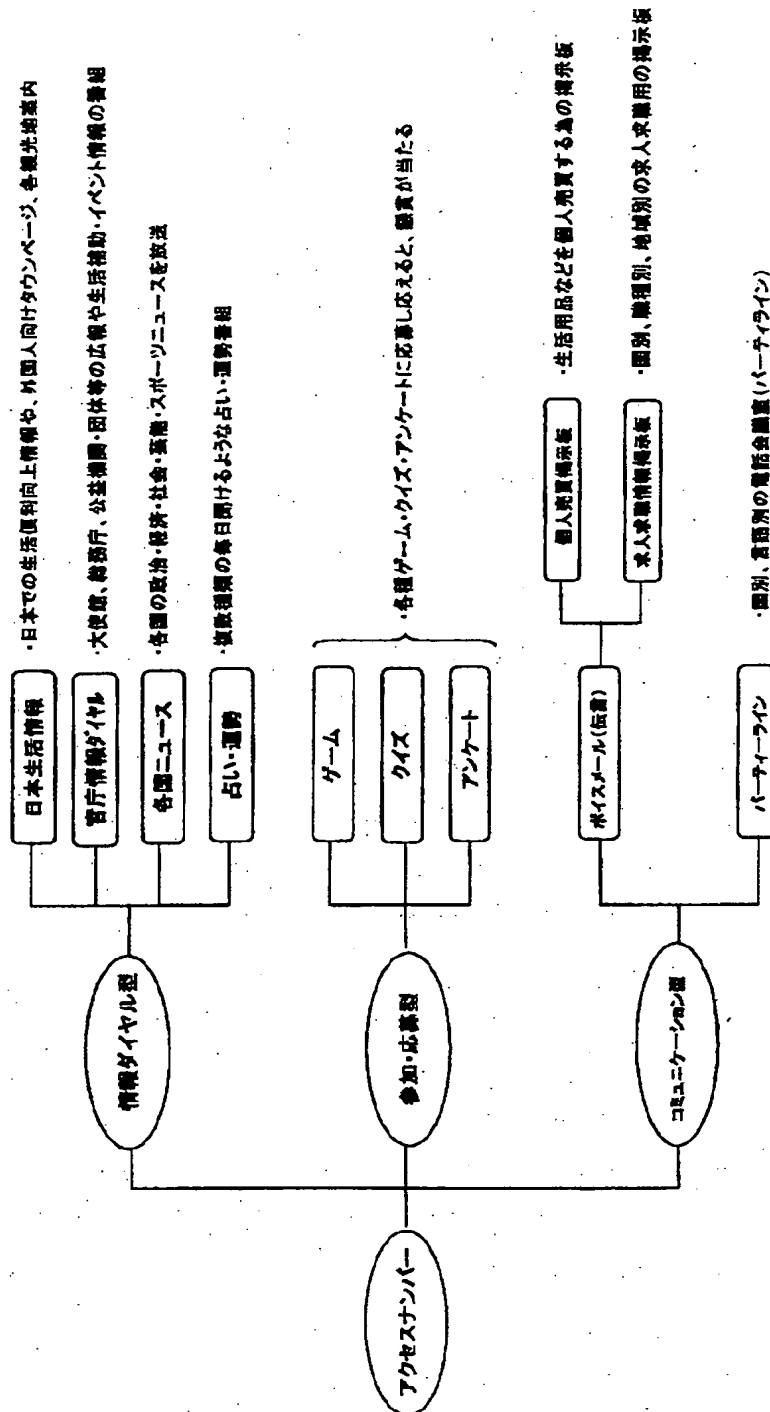
【図2】本発明のサービス提供方法におけるコンテンツの内容を示した図である。

【図3】本発明のサービス提供方法を世界的に拡大した場合を示す図である。

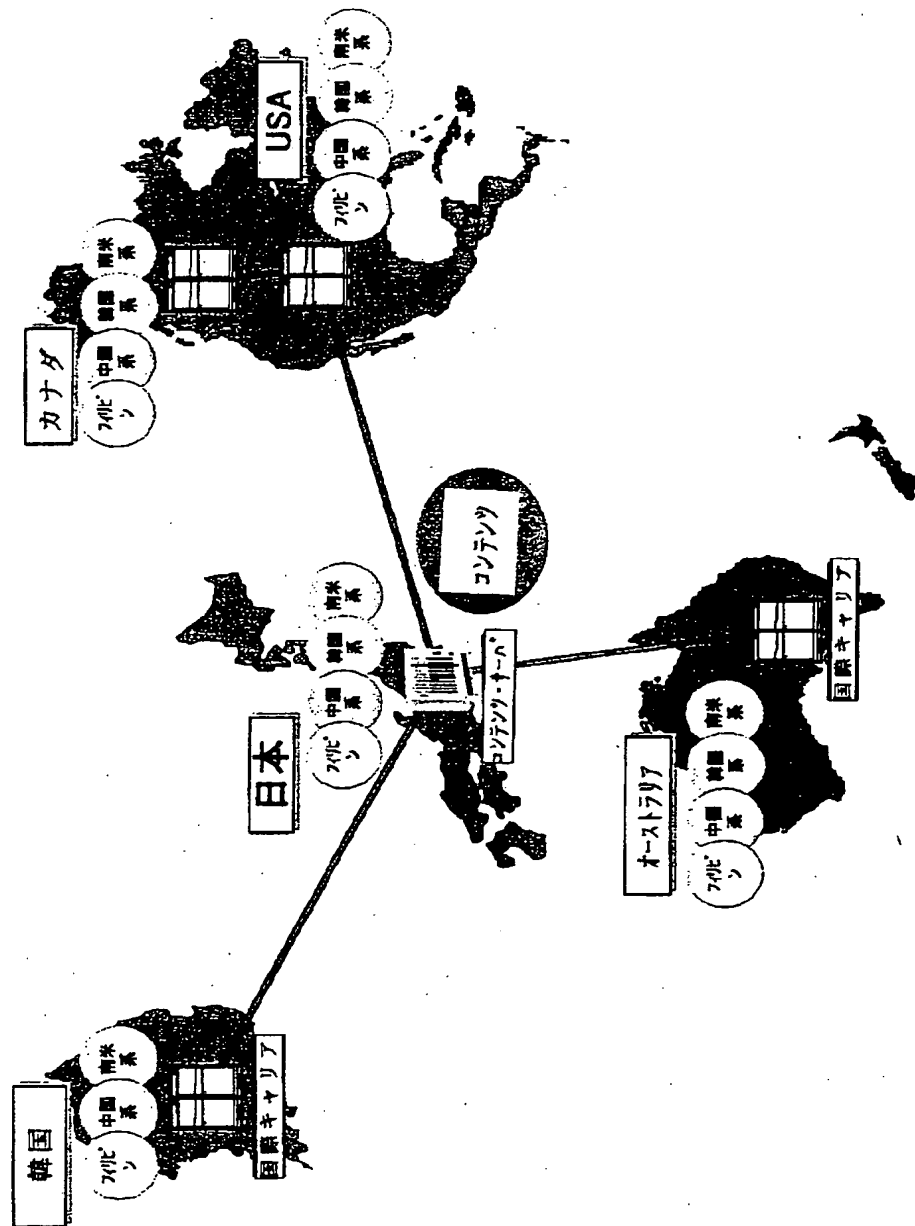
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 7 F 7/08

H 0 4 M 3/42

3/493

識別記号

F I

H 0 4 M 3/42

3/493

G 0 7 F 7/08

テーマコード (参考)

Z 5 K 0 2 5

L



F ターム(参考) 3E044 AA03 BA06 CA05 DC05 DE01  
5B049 AA05 BB11 BB17 CC05 CC08  
CC39 DD01 DD04 EE01 EE23  
EE25 FF04 GG02 GG03 GG06  
GG07  
5B055 CB10 EE02 EE12 EE21 EE27  
FA05 FB03 KK07 KK09 KK18  
KK19 PA02 PA34  
5K015 AF02  
5K024 AA62 AA71 BB01 BB02 CC01  
DD01 GG05 GG08  
5K025 BB10 DD03 EE18 EE24 KK02  
KK06